

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支援部門 都整-13 国道道対策運営事務										
主管課	道路課			関連課		道水路管理課、交通計画課、都市計画課、再開発課					
分野名	総合交通										
目標 (目標値)	都市計画法、道路法等に基づき国道道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成する。										
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考			
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯					
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	1,169		1,180		1,215					
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	1,169		1,180		1,215					
	人員配置数	1.0人		1.0人		1.0人					
	人 件 費(千円)	8,348		8,354		8,662					
	協働のパートナー	国土交通省、神奈川県 東日本高速道路株式会社		国土交通省、神奈川県 東日本高速道路株式会社		国土交通省、神奈川県 東日本高速道路株式会社					
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	9,517		9,534		9,877					
	市民1人当りの経費(円)	53		54		56					
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	22年度		23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値									

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
国道道対策運営事務	1,169	国道道対策運営事務	1,188	今後の 方向性	B	理由 ・手法	国の事業である、横浜湘南道路整備事業や県の 事業である、大船立体整備事業等の事業推進に 向け、国・県と連携し事業の円滑な推進を図る。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	国事業の首都圏中央連絡自動車道の一部を形成する横浜湘南道路では、事業着手に向け土地所有者に土地の評価や補償率等についての説明を行ったが、未だに合意を得られない住民がいる。												
課題解決のための取組	今後とも、事業主体である国と連携し、事業実施が円滑に行えるよう住民及び関係機関との調整を継続して行っていく。							取組の結果	□解 決 ■未解決				
未解決の課題	横浜湘南道路に係る土地所有者は、所有する土地等の区分地上権の補償でなく、土地家屋の買取りを望んでいるものである。												
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)			➡		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	国・県との連絡調整及び住民と面談等調整を密に行い、国道道の持っている交通機能、ライフラインを収納する機能及び防災空間などの空間機能を住民に理解してもらい、国道道の機能整備を図る。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡		B	
								※□事業完了					

評価者名

道路課担当課長

坂巻 龍馬

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
国県道対策 運営事務	小袋谷跨線橋の架け替えを含む腰越大船線事業に関する協議・調整を行った。国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。				○	○	○	○	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1148	事務補助嘱託員報酬	1,029	1,028	○	○	○	○
		1148	事務補助嘱託員費用弁償	44	42	○	○	○	○
		1148	消耗品費	22	19	○	○	○	○
		1148	首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金	40	40	○	○	○	○
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									